

船橋市立船橋中学校 令和7年度

各教科の評価・評定 について



成績について

（１）学習評価の考え方

学習評価は、学校における教育活動に関して、生徒の学習状況を評価するものです。

「生徒にどのような力が身についたか」という成果を的確に捉え、**生徒自身が自らの学習を振り返って次の学習に向かうことができるようにするためにも**、通知表により成績（評価・評定）をお伝えしています。

（２）観点別学習状況の評価の考え方

観点別学習状況の評価とは、学習指導要領に示す目標に照らして、その実現状況がどの程度であるかを観点ごとに評価し、生徒の学習状況を分析的に捉えるものです。

観点ごとにA・B・Cの３段階で評価を行い、その組合せによって評定1・2・3・4・5（５段階）が決まります。

【観点別学習状況の評価】

A：十分に満足できる
B：おおむね満足できる
C：努力を要する



【評定】

5：十分に満足できるもののうち、特に高い程度のもの
4：十分に満足できる
3：おおむね満足できる
2：努力を要する
1：一層努力を要する

「定期テストで100点を取れたら、評定5がつく」という単純なものではありません。

（３）評価の３つの観点

令和３年度より中学校の学習指導要領が改訂され、目標および内容が「３つの資質・能力」に整理されました。それに伴い評価・評定のあり方が下図のようになりました。

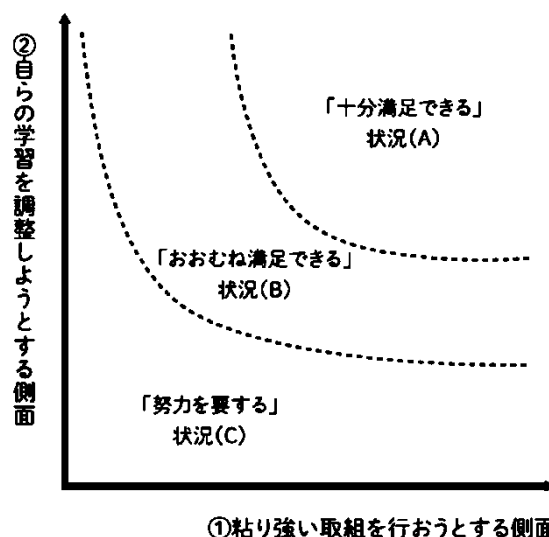
【３観点】

- ①知識・技能
- ②思考・判断・表現
- ③主体的に学習に取り組む態度

（４）各観点の評価の概要

- ①「知識・技能」では、例えばペーパーテストにより知識を習得しているか、また概念を説明できるか（知っているだけでなく分かっているか）を問うものや、実際に知識・技能を用いる場面としての観察や実験、数式やグラフなどによる表現を見ることで評価します。
- ②「思考・判断・表現」では、論述やレポートの作成や発表、グループにおける話し合い、作品の制作や表現等の活動やその記録の蓄積を見ることで評価します。
- ③「主体的に学習に取り組む態度」では、ノートやレポートの記述、授業中の発言・行動、自己評価や相互評価などを考慮に入れながら、①②の資質・能力を身につけるために「粘り強い取組ができているか」「自らの学習を調整しようとしているか」という２つの側面を見て評価します。そのイメージ図を次に示します。

「主体的に学習に取り組む態度」の評価のイメージ



(「学習評価のあり方ハンドブック」より 作成：文部科学省・国立教育政策研究所)

この図から分かることは、「粘り強い取組」だけや、「調整しようとしている」だけでは、より良い評価に結びつかないということです。

各教科から出される**提出物や課題**は「主体的に学習に取り組む態度」を見取るための大事な資料となります。**必ず期限を守って完成させ、提出すること**を心がけてください。また、**毎回の授業に出席すること**は、とても大切なことです。

これら3つの観点について、各教科が具体的にどのように評価しているのか、次ページ以降を熟読して、見通しを持って学習に取り組んでください。

(5) 観点別学習状況の評価と5段階評定の関係一覧表

5段階評定は、観点別学習状況の評価を数字に換算して算出します。「Aを3、Bを2、Cを1」として、その合計点から以下のように評定します。

観点別評価	合計点	評定
A A A	9	5
A A B	8	4
A A C	7	3
A B B	7	3
A B C	6	3
B B B	6	3
A C C	5	3
B B C	5	3
B C C	4	2
C C C	3	1

国語

観点別評価	観点の内容	評価の基準(☆)と方法(○)、見取る場面の例
知識・技能	社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけているとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりしている。	☆国語の知識や技能を身に付けている。 ☆和語、漢語、外来語などを使い分けることを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ☆我が国の言語文化を理解している。 ○定期テスト ○漢字テスト ○文法事項の理解 など 例) ノートを有効活用し、語彙を増やすことができる。 例) テストなどにおいて理解度に応じ得点している。
思考・判断・表現	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	☆「話すこと・聞くこと」において、場の状況に応じて言葉を選ぶなど、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫している。 ☆「書くこと」において、自分の考えが分かりやすく伝わる文章になるように工夫している。 ☆「読むこと」において文章の種類を踏まえて、論理の展開の仕方を捉えている。 ○定期テスト ○作文 ○授業課題やノートの記述内容 など 例) 自分の考えを書き、発表することができる。 例) 発表をもとに考えを深めることができる。
主体的に学習に取り組む態度	言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値を認識しようとしているとともに、読書を通して自己を向上させ、言葉を適切に使うようとしている。	☆粘り強く学習に取り組もうとしている。 ☆意欲的に知識を得ようとしている。 ☆文章を推敲したり、発表などを工夫したりしている。 ○授業課題やノートの記述内容 ○暗唱テスト ○振り返り など 例) 読書記録、語彙リストなどをノートのメモ欄につけ、作文の時などに応用することができる。 例) 粘り強く表現を工夫して、考えを述べることができる。

社会

観点別評価	観点の内容	評価の基準(☆)と方法(○)、見取る場面の例
知識・技能	○我が国の国土と歴史、現在の政治、経済、国際関係等に関して理解しているとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的にまとめている。	☆社会的事象について、各分野や各単元の学習内容を理解しているとともに、諸資料から様々な情報を調べ、まとめることができる。 ○定期テスト ○ワークやノート、プリントの内容 例) アジア州の経済成長の理由や課題を表にまとめて振り返り、アジア州の地域的特色を理解している。 例) 地図や資料を活用し、江戸幕府の成立の経緯とともに、大名の配置や領地替え、武家諸法度などの政策によって、幕府が全国の大名を統制したことを理解している。 例) 資本主義経済の特徴と、市場ではたらく競争の良い点について理解している。
思考・判断・表現	○社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。	☆社会的事象について、各分野や各単元の学習内容を理解しているとともに諸資料から様々な情報を調べまとめることができる。 ○定期テスト ○ノートやプリントの記述内容 例) アジア州において急速に経済が成長してきた理由や課題について多面的・多角的に考察し、具体的に表現している。 例) 幕府が参勤交代の制度を設けたねらいと、参勤交代がもたらした結果について、幕府や大名の立場から考察し、表現している。 例) 生産の集中の問題を、企業や消費者の立場から、効率・公正の視点を活用して考え、自分の言葉で表現している。
主体的に学習に取り組む態度	○社会的事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとしている。	☆社会的事象について主権者としての自覚をもち、主体的に課題解決等に向けて学ぼうとしている。 ○定期テスト ○ノートやプリントの記述内容 例) アジア州について自らの学習を振り返りながら、粘り強く考察することを通して主体的に探究課題を追究し、社会に関わろうという態度を示している。 例) 江戸幕府の成立と、幕藩体制による支配の確立について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。 例) 市場の働きと経済について、現代社会にみられる課題の解決を視野に、主体的に社会に関わろうとしている。

数学

観点別評価	観点の内容	評価の基準(☆)と方法(○)、見取る場面の例
知識・技能	数量や図形などについての概念や法則を理解するとともに、事象を数学的に解釈し、処理する技能を身につけている。	☆数式や関数、図形に関する用語や性質等について、数学的に理解し、説明できるだけ知識が身に付いている。 ☆計算などの数式の処理や関数、図形の課題を解くための技能が一定の基準を超えている。 ○単元テストや定期テスト ○授業中の発問応答 ○ノートやワークの記述内容 例) 正負の計算を解くことができる。 例) 式の加法、減法を解くことができる。 例) 式の展開を乗法の公式を使って解くことができる。
思考・判断・表現	数学を活用して、事象を論理的に考察し、数学的な表現を用いて明瞭・的確に表す力を身につけている。	☆課題を解くために、数学的に道筋を立てて考え、解決し、その過程や結果を分かりやすく表現することができる。 ○定期テスト ○ノートのまとめ等 ○グループでの話し合い・発表 例) 計算問題で、より効率よく解く方法を考察し、表現することができる。 例) 日常生活の事象を数学的に考察し、自分の考えを式や表、図等を使って表現することができる。
主体的に学習に取り組む態度	数学的活動の楽しさや、数学のよさを実感して粘り強く考え、自らの取り組みを振り返って調整し、学習しようとしている。	☆数学的に問題を解決するよさを実感して、粘り強く考えることができる。 ☆数学を日常生活や学習活動に生かそうとすることができる。 ☆問題解決の過程を振り返って、自らの取り組みを検討し、仲間との議論等を生かして、改善できるよう調整することができる。 ○定期テスト ○問題に対する取り組み状況(ノートやワーク等) ○テストの振り返りシート(解き直し)の取り組み ○学びの足跡の記述内容 ○授業中の取り組み状況 ○グループワークでの活動の様子 例) 問題を正解するまで粘り強く解こうとしている。 例) 自分の解き方と友達の解き方を比較し、より良い解き方を見つけようとしている。

理科

観点別評価	観点の内容	評価の基準(☆)と方法(○)、見取る場面の例
知識・技能	自然の事物・現象についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	☆自然の事物・現象についての基本的な概念や原理・法則などを理解している。 ☆観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 ○テストにおいて、知識の取得や、知識の概念的な理解を問う。 ○観察や実験で得られた結果を、式やグラフ、スケッチ等で記録する場面を設ける。 例)テストを行い、知識が身に付いたか習熟度をはかる。 例)観察や実験を適切に行えるかどうか、レポート等で判断する。
思考・判断・表現	自然の事物・現象から問題を見いだし、見通しをもって観察や実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	☆自然の事物・現象から問題を見いだし、観察や実験などで得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。 ○テストにおいて思考力を問う。 ○論述やレポートの作成、発表、グループでの話し合いの場面を設ける。 ○観察や実験から得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究しているか。 例)テストを行い、思考力が身に付いたかをはかる。 例)探究活動などで科学的に表現しているか判断する。 例)観察や実験の結果から分かることを考察しているか、レポート等で判断する。
主体的に学習に取り組む態度	自然の事物・現象を進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	☆他者と積極的に意見交換をし、自身の意見をよりよくできている。 ☆今までの学習内容や身近な経験に紐付けられて考えられている。 ☆思考が変容する過程や、根拠を説明できている。 ○テストやワークシート、レポートにおいて考えの変容をみとる。 例)テストやワークシート、レポートから、授業前後の思考の変容をみとる。 例)ワークシートやノートの記述から、単元ごとの思考の変容をみとる。

音楽

観点別評価	観点の内容	評価の基準(☆)と方法(○)、見取る場面の例
知識・技能	・曲想と音楽の構造や背景などの関わり及び音楽の多様性について理解している。 (知識) ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表現している。 (技能)	☆曲想と音楽との構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。 ☆声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解している。 ☆創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方、演奏するために必要な奏法などの技能を身に付けている。 ☆創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能、演奏する技能を身に付けている。 ○授業中の発表の内容 ○ワークシートの記述内容 ○歌唱や器楽の実技試験、リスニングなどの小テスト 例) 楽曲の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性について理解している。 例) 響きのある発声や、楽器の演奏技能を身につけて表現できる。
思考・判断・表現	・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて思いや意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。	☆音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うか、演奏するか、音楽をつくるかについて、思いや意図をもち、表現することができる。よさや美しさを味わって聴き、表現することができる。 ○授業中の発表の内容 ○歌唱や器楽の実技試験 ○ワークシートの記述内容 ○創作活動の作品 例) その楽曲の音色や旋律などを理解し、どのように歌ったり、演奏したり、創作したりするか、思いや意図をもっている。
主体的に学習に取り組む態度	・音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	☆その題材の学習に粘り強く取り組んだり、自ら学習しようとする意思をもったり、表現できるようにするために必要な技術を追い求めたり、扱う教材曲や曲種の特徴に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱・器楽・創作の学習活動に取り組もうとしている。 ○歌唱や器楽の実技試験 ○授業内の活動の様子(発表を含む) ○ワークシートの記述内容 例) 歌唱・器楽において主体的に練習している。

美術

観点別評価	観点の内容	評価の基準(☆)と方法(○)、見取る場面の例
知識・技能	材料や用具の性質や効果を理解するとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し創造的に表す技能を身につけている。 対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。	☆使用する材料や用具の性質や効果を理解し、作品の構想に合わせて適切に使用することができる。 ☆造形的な視点で課題を理解し、表現方法を工夫することができる。 ○課題に取り組む姿勢(資料収集・材料や用具の扱い方・表現の工夫など) ○アイディアスケッチやワークシート ○作品の完成度(構図や色の工夫・美しさ) 例) 色塗りの用途に応じて使用する筆や種類、使い方を適切に判断できる。また、混色や重色、筆のタッチ、塗料に混ぜる水分量の調節などを工夫し、自分のアイディアを表現することができる。 例) 材料や用具に慣れ、丁寧に作業し、美しく仕上げることができる。
思考・判断・表現	造形的な美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生み出し、美的感覚を働かせて心豊かに発想し構想を練ることができる。 美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めている。	☆参考作品の干渉やアイディアスケッチなどを活用し、表現方法を模索して、自らの造形活動に生かすことができる。 ☆自他の作品のよさを認め合うことができる。 ○アイディアスケッチやワークシート ○作品 ○自他の作品に対する感想 例) 作家の作品や過去の生徒作品、資料などを参考にして、アイディアスケッチやワークシートで作品の構想を練り、作品に生かすことができる。 例) 自他共に作品の良さがわかったり、共感したりすることができる。
主体的に学習に取り組む態度	美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に表現及び鑑賞の幅広い学習活動に取り組もうとしている。	☆造形活動を通して、美術のよさを感じとることができる ☆よりよい作品にしようと探求心をもって根気強く作業することができる。 ○授業態度(準備・片付け・発言・資料、情報収集) ○作品やアイディアスケッチ、ワークシート(仕事量・完成度) ○自他の作品に対する姿勢。(探求心) 例) 最後まで諦めず作業する。 例) 鑑賞活動に積極的に参加する。

保健体育

観点別評価	観点の内容	評価の基準(☆)と方法(○)、見取る場面の例
知識・技能	運動の合理的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに実践するための理論について理解しているとともに、運動の特性に応じた基本的な技能を身に付けている。また、個人生活における健康・安全について科学的に理解しているとともに、基本的な技能を身に付けている。	☆運動の学び方や安全な行い方、運動の特性や意義について理解している。 ☆運動の特性に応じた技能を身につけたり、高めたりしている。 ○学習プリントや定期テスト ○学習カードの記述内容や話し合いでの発言 ○授業での動きや技能の高まり 例) ネット型の球技で、準備姿勢から落下地点に素早く入ることができる。 例) 球技の特性やルールについて、定期テストで正確に答えることができる。
思考・判断・表現	自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。また、個人生活における健康に関する課題を発見し、その解決を目指して科学的に思考し判断しているとともに、それらを他者に伝えている。	☆自己や仲間の課題を解決するための具体的なめあてをたてている。 ☆めあてを達成するための練習方法を考えている。 ☆文字、言葉、行動で表現している。 ○学習カードの記述内容 ○仲間への発言や助言 ○めあてを達成するための動き 例) 「美しい前転」をするために「回転時に膝を伸ばす」など具体的なめあてをたてている。 例) 実際に膝を伸ばすための意識や工夫をしている。
主体的に学習に取り組む態度	運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう、運動の合理的な実践に主体的に取り組もうとしている。また、健康を大切にし、自他の健康の保持増進や回復についての学習に主体的に取り組もうとしている。	☆公正、協力、責任に対する意欲を持ち、学習に積極的に取り組もうとしている。 ☆健康・安全を確保して、学習に主体的に取り組もうとしている。 ○授業への参加状況、持ち物や提出物など ○安全面への配慮の様子 ○準備・片付け・声かけなど自ら率先して行動する様子 例) しっかりと授業に参加している。 例) 持ち物や提出物の状況が優れている。 例) 自ら率先して行動している。 例) 健康・安全に留意している。

技術・家庭(技術分野)

観点別評価	観点の内容	評価の基準(☆)と方法(○)、見取る場面の例
知識・技能	生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身につけるようにする。	☆生活や社会で利用されている材料、加工、生物育成、エネルギー変換及び情報の技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに関わる技能が身に付いている。 ○定期テスト ○作品の完成度 例) テストにおける基礎的・基本的知識の理解度を求める問題 例) 両刃のこぎりにおける切断の正確さ 例) 作品の完成度(強度・切削・仕上げ)
思考・判断・表現	生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力を養う。	☆生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、製作図等に表現し、試作等を通じて具体化し、実践を評価・改善するなど、課題を解決する力が身に付いている。 ○評価カードの記述内容 ○テーマ別討論会 ○定期テスト 例) 評価カードにおける学習を通して取得した思考力・判断力の記述 例) 討論会における自分自身の意見を思考し、検討・表現した内容の記述 例) テストにおける適切な判断力を求める問題
主体的に学習に取り組む態度	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。	☆よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度が身に付いている。 ○評価カードの記述内容 ○ノート、レポート等における記述 例) 評価カードにおける授業を通した生徒の変容 例) 評価カードにおける各自の課題に対してポイントをおさえしっかりとまとめることができる力

技術・家庭(家庭分野)

観点別評価	観点の内容	評価の基準(☆)と方法(○)、見取る場面の例
知識・技能	生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身につけるようにする。	☆家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的理解を図るとともに、それらに関わる技能が身に付いている。 ○定期テスト ○作品の完成度 ○学習カードの記述内容 例) テストにおける基礎的・基本的知識の理解度を求める問題 例) 包丁などの技能テスト 例) 縫製などの作品の完成度 例) 学習の内容をもとに、生活の向上をするための具体的な方法を見つけ、学習カードに記述している。
思考・判断・表現	生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力を養う。	☆家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決する力が身に付いている。 ○テーマ別討論 ○学習カードの記述内容 例) 討論会における自分自身の意見を思考し、検討・表現した内容の記述 例) 生活向上を目指す具体的な対策を継続することで、生涯をどのような暮らしを実現させたいかを考え、学習カードに記述している。
主体的に学習に取り組む態度	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。	☆自分と家族、家庭生活と地域との関わりを考え、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度が身に付いている。 ○学習カードの記述内容 ○プリント等における記述内容 例) 生活向上の具体的対策をもとに、どのような生活を目指していきたいかを考え、学習カードに記述している。